

警浦コミュニティセンターだより

# 双鷺洲

## 「三七」講座の案内

本年度の講座が終了し、受講生の皆さんは、学習とコミュニケーションでお互いから元気をもらったのではないのでしょうか。

新年度からも引き続き次の講座が開講されます。

- 健康体操 毎月二回(金)
- 絵画(絵手紙)毎月一回(金)
- 子ども英会話 毎月二回(土)



奮ってご参加下さい。  
新講座などの相談・お問い合わせ先は  
学習相談員

話(87-55560) なお、主催講座の書道は、公民館作品発表会の3月17日(土)・18日(日)中央公民館の中で展示されます。ご購入下さい。

2月1日(木) 警浦小学校3・6年生15人が総合学習で向田地区の見どころ「磨崖和霊石地蔵」塔の碑千木桜、扇塚地蔵を訪ねました。

### 小学生「郷土の良さを伝えたい」

さきしまを愛するボランティアガイドも人は現地迄の道案内を務め、私達が受け継いだ話をわかりやすい言葉にして「どうして出来たのか」の間に答えながら説明しました。

和霊石地蔵では横に書かれている事やいわれ等、塔の峰では地区の皆でこの山に桜を植えたことやそこから見える大平山の千畳敷の言い伝え等、扇塚では塩田が作られた話等をしました。小雪のちらつく中、子ども達はしっかりと話を聞いてくれました。

お礼の言葉と共に後日頂いた金額からの手紙は「郷土の事をもっと知りたい」「ほかの人にも教えてあげたい」等初めての郷土の事を知った喜びを絵と文で現していました。子ども達とガイドは、

先人の郷土愛を共有しながら、お互いに喜び心豊かになりました。今後も佐木島の良さを島内外の人に伝えていきたいと思えます。皆さん私達と一緒にガイドしませんか。只今、ガイド募集中です。ボランティアガイド 一同



### 「さきふれあいいききサロン」

こんにちわ、さきふれあいいききサロンです。

設立八年目を迎え、今一度、「人の喜びを私の喜びに」という「初心」を目指し歩んでいこうと、一同張り切っています。  
地元の野菜、卵、材料を使った健康的な食事、毎日の生活の中でいかに心と身体が若々しくいきい

きと使えるかというとても参考になるお話、無理なく身体を動かしながら楽しくふれあうゲームなどを柱に会を進めています。  
この度は、二月十六日に健康推進員の中原さとさんをお招きして、健一フにしたちぎり絵に挑戦しおもしろい体験に驚いたり感じ入ったり、最後には全員で腹を抱えての大笑いをしてお開きとなりました。

「この会がとてもしみなんよ」と笑顔で伝えて下さる会員の方の言葉が私達ボランティア一人ひとりの原動力となっています。

これからも、いろいろなアイデアを盛り込んだ楽しいサロンを予定しています。

皆さん共に参加してみませんか？  
さきふれあいいききサロン  
西原和子 記



2月9・10・11日と例年の大神祭が三地区の家内安全・五穀豊穡の舞いを祈禱し、春の訪れを告げてくれました。



### 「男の料理教室」

春の部  
前回は好評でした料理教室です。  
3月17日(土) 9時半  
警浦コミュニティセンターにて  
参加費一、〇〇〇円  
申込〆切 3月10日センターへ

### 俳句・川柳・短歌

○農作業 まるくなりたる背も腰も  
・さきしまも いづれ猪の島大平山  
・巡り逢いもちつもたれつ墓場まで  
あかんたれ  
○ワケギぬく 畑に一人 吾も老い  
元氣かね 言葉け合うも治療なり  
KK  
○これだけは なるべくとろうい  
そんな 何時も備えてお魚好きね  
D生

# 第18回トリアスロン決定

第3回実行委員会・2月役員会の協議を経て、次のとおり日程・実行委員が選出されました。

なお、今回もチップによる自動計測で実施する予定です。

○日時 8月26日(日)

午前10時〜

## ☆実行委員

- 実行委員長 谷中 勝
- 副実行委員長 御畑誠二
- 大会総務主任 山本勝彦
- 事務局長 岡本恒明
- 実行委員 平木修二
- 実行委員 中洲浩二

（谷中実行委員長）



「来年度、第18回トリアスロンさきしま大会の実行委員長の

大役を引き受けることになりました。17年間続けてこられた大会を引き継いでいく、期待と不安で身の引き締まる思いであります。

次回大会の開催に向けて、皆様方のご指導ご協力をいただき、重責を果たせるよう一生懸命努めて参りますので、よろしくお願ひ致します。

・前実行委員長の川原幸義さん  
たいへんご苦勞様でした。

## トリアスロンとさきしま

8年前の第10回大会（99年）を前に方向性について、検討した記録が残っています。

「現在の鷺島の状況は通疎高齢化がますます進み、地域コミュニティとして機能を持続するの大変になりつつあります。15年前一八五〇名の人口が今や一三〇〇名になり、小中学生の減少で小学校が統合されました。（平成七年）

船で通学する高校生、新たに就労等で島から通勤する人が減り、現在通勤している人も毎年少しづつ定年退職するので、船を利用する人が確実に減ってきていると

うことです。考えてみれば、この15年で550名の人口が減ったと言うことは、鷺、須ノ上、向田の内の一地区が消滅したのと同じことになるのです。この状況が続くとどうなるかという点、船便がなくなるといふこと、将来は航路の廃止と少なくなり、将来的に可能性が大い

いのです。この状況の中、島の活性化が叫ばれています。活性化とはいったいどういった状況の事を指すのでしょうか。全国三〇〇〇あまりの自治体のほとんどの人口が減少し

大都会への人口移動が続いています。三原市も例外ではなく、停滞もしくは減少している中で、鷺島がどう頑張っても人口をふやすと

いう事は血大抵ではありません。そこで考えられるのが、定住人口の増加なら不可能ではないと言

うことです。山奥のひなびた温泉に定住人口は少なくてもバスや電車が通っているのは、毎年多くの観光客が来るからなので

す。鷺島には、これと違った観光の目玉はないのですから、須ノ上セミナーハウス、三菱、ショップの研修所に沢山の人が来てもらう。貝掘りや釣り人、歩け歩け大会に沢山来てもらう。多少ゴミが出て、交通の邪魔になっても、ただ静かだけれど船の通わない島よりいいじゃないですか。

トリアスロンもその一環として捉えていきたいと思えます。

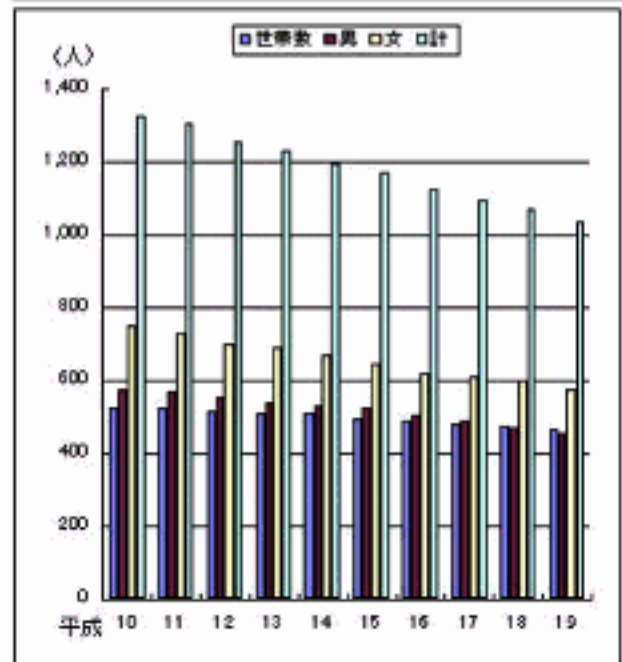
島に来て頂くには島を知ってもらわなくてはなりません。トリアスロンには300名を超える選手とその家族、友達が全国からやります。また、マスコミでも、協会雑誌（全国紙）にも取り上げられます。その為に島民皆で一日ポランテアで汗をかいてほしいの

ではないでしょうか。（続く）8年後の今、予想していた通り通疎、高齢化、の人口減がやって参りました。かつての鷺島は夢の夢、もはやないので、課題山積ですが、おっとどっこい、鷺でステキに暮らすのだから、モットーに新たに挑戦しましょう。

## 鷺浦町 人口推移

平成19年1/1現在

	世帯数	男	女	計
平成10.1	525	574	752	1,326
11.1	525	571	731	1,302
12.1	514	556	699	1,255
13.1	507	541	687	1,228
14.1	507	527	670	1,197
15.1	497	526	645	1,171
16.1	487	506	620	1,126
17.1	481	488	607	1,095
18.1	475	471	600	1,071
19.1	464	457	576	1,033



## お知らせ

○船の老人優待券 100円券  
先月号でお知らせしました優待券を使用のお年寄りは、四月よりな島外への船賃はどの航路も100円券が必要となります。優待券を受け取るときに100円券(有料)をご購入下さい。

○鷺浦中学校夜間照明施設が完成しました。使用規則に付しましては現在、町内会等で協議中です。三月中には、お知らせできると思っています。

○鷺島 最近猪が少なくなりました。いませんか。島内・島外の方で一年に90頭くらい捕獲したと思われま